



木の香る 健康な

”すまい便り” 増刊号 -2012.2-



- ・ イベント開催報告
- ・ 擦り傷の治し方
- ・ 部屋を広々見せる工夫
- ・ 社長の一言
- ・ イベント情報
- ・ 仮設住宅はなぜ寒い

イベント開催

ちりめん細工教室を開催しました！



2月4日に「ちりめん細工教室」を開催致しました。

前回の教室では「鏡餅」を作って大好評♪早々と第2回教室を企画させて頂きました。

今回は女性なら大好き！

可愛いおひな様です♪

はまぐりを使って置いて飾る

タイプと、壁掛けタイプの2種からお好きな方を選んでいただきました。壁掛けタイプに人気あり・・・でもこちらの方が、ちょっと難しかったりして(-_-;

皆さん頑張って、ひとつひとつ部品を作っていく作業に没頭！はまぐりタイプは早々と出来上がって「余裕♪」な感じでした。しかし、先生が一人一人丁寧にみてくださったので、全員素敵に出来上がりましたよ！



自分の家に早く飾りたい、お孫さんに贈って喜ぶ顔が見たい、と皆さん大満足♪

先生も生徒の方々に喜んでもらえて良かったとおっしゃっていました。

稲地先生のちりめん細工教室は、糸で縫わずにボンドで貼る方法で作っていくので、針で縫うのが苦手だったり小さいお子さんでも簡単に作れるのがポイントです。

第3回は何を作るのかな？と先生が企画中です・・・

ぜひ、皆様のご参加お待ちしております♪



和気あいあいと楽しい雰囲気→皆さんすぐにお友達に！

健康

擦り傷は乾かさずに治す・・・？

転んで擦りむいたら、消毒液で傷を殺菌し絆創膏を貼る。一定の年齢以上の人にとってはごく常識的な対処方法です。

しかし、今は染み出てくる体液を生かし傷口を湿った状態に保つ「湿潤療法」が広く知られるようになってきました。痛みを和らげ治りが早く傷跡が残りにくいそうです。

擦り傷などが治る過程では必ず瘡蓋（かさぶた）ができるもの。この常識を覆す治療法「湿潤療法（モイストヒーリング）」と呼びます。

しみ出てくる滲出液には細胞を活性化させながら、傷口を清潔に保つ成分が含まれている。その滲出液を保ち湿った状態にしておく方が、傷の治りが早い。これが湿潤療法の考え方。

「ガーゼを当てるのは最悪の対処。湿潤液は傷を治す近道」だそうです。

傷口にガーゼを当てると、せっかくの滲出液を吸い取ってしまい患部が乾いた状態になる。患部に痛みを感じ、雑菌が繁殖しやすくなります。

欧米では広く認知されていますが、日本では医療現場や学校などで活用されています。

この湿潤療法を家庭で行うには

①傷口の洗浄②止血③保護④観察 と4つのポイントがあります。

具体的には、傷口は水道の水で砂など異物をしっかり洗い流す。次に傷口を清潔な布などで押さえ、水分を拭き取り止血する。その後、湿潤療法用の絆創膏を皮膚にピッタリと貼り、滲出液を逃さないようにする。

ただし、刺し傷には適さないのご注意ください。



消毒液も不要！

擦り傷の治し方も進化しているんですね！

知恵

部屋をスッキリ広々見せる工夫

部屋が雑然としている・・・
ちょっとした工夫で見違えるかも！？

①遠近法を利用する

家具の配置計画には遠近法を取り入れます。
入口近くに大きな家具を、奥に小さい家具を配置すれば部屋が広く見えます。また背の低い家具だと天井が高く感じるので開放感があります。

②家具は可能な限り集中配置

床が広く見えるほうが、部屋に広がりを感じられます。家具は可能な限り集中して置きましょう。

③カラーと背丈を揃える

2色ぐらいまでに押えて、濃い色は低い位置に、淡い色は高い位置に配置します。
また高低差が大きい場合、絵や木を飾ると良いです。



社長の一言

皆様こんにちは。いつもご覧いただきありがとうございます。寒さが続きますがお変わりありませんか？晴れた日は少し気温も上がって体も少しゆるみ、窓からの陽だまりにも心がなごみます。



代表取締役 徳矢 和士郎

私の会社では協力会社さんへのお代金の支払を毎月20日でめて翌月10日に現金（小切手）でお支払しており、ここ40年以上続けております。一時振込をしていた時期もありましたが、お互いの情報交換の意味で、今は本社へ集金に来てもらいます。当日は、社長の私も一日在社して色々なお話をいたします。協力業者は事務員さん、奥様、社長さん、営業の方が来社され各社各様色々な話に花が咲きます。この前は、町から村へ嫁いだ奥様の話で、嫁ぎ先ではクヌギの中にいるカミキリ虫の白い幼虫を食べる習慣を見て驚いたことや、他の方は、小さい頃お使いで一人山の中を歩いているとキツネに出会い、馬鹿にされまいとニラメッコした話であるとか、話題にことかきません。

とにかく、皆、安全で、楽しく、責任をもって、それぞれの仕事に携わって頂けることが願いでございます。

夕方6時ごろ支払の業務が一段落し、社員とホッと一息です。おだやかな春が近いことを楽しみに、もうしばらく寒さを乗り切りましょう。

イベント情報

ミニチュア粘土教室

見ておいしい♪小さな可愛いケーキ作り♪

日時：2012年3月17日（土）

10：00～12：00

場所：徳矢住建(株) 内

会費：1500円



春のガーデニング教室

毎年恒例！春の花でMY寄せ植えをしましょう♪

日時：2012年4月21日（土）

10：30～12：00

場所：徳矢住建(株) 内

会費：1500円



お問い合わせ、お申し込みは、0120-81-4389

情報

仮設住宅はなぜ寒い 壁が鉄で熱が逃げる 急ごしらえで断熱材不足

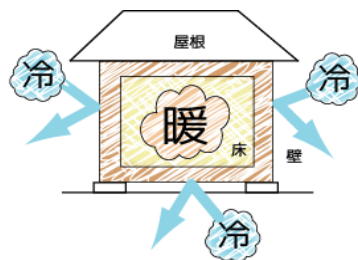
東日本大震災から11ヶ月経過した頃、「寒さ厳しい東北で仮設住宅暮らしは大変だ」と防寒工事が行われました。それでも仮設住宅は寒いといひます。なぜでしょうか？

熱には高い方から低い方に移動する「伝導」という性質があります。そのため冬に家の中を暖めても、熱を遮る素材を壁に貼っておかないと、壁を通じて熱が外に逃げて部屋の中が冷えてしまいます。そこで普通に家を建てる場合は、外壁と内壁の間にグラスウールなどの断熱材を隙間なく施工します。

しかし、急ごしらえで造った仮設住宅には十分な断熱材が使われていません。しかも、仮設住宅は加工や組み立てがしやすいように、柱や壁が鉄でできています。素材によって熱の伝わりやすさが異なり、鉄は紙や木に比べて熱を伝えやすいので、残念ながら仮設住宅は寒いのです。

また住宅の快適さには、断熱のほかに機密性も大切です。一般に、住宅の窓の周りは気密性が低い、つまりは隙間風が入りやすいのです。中でも仮設住宅は気密性が低く「隙間風が寒い」と言う住人が多いのです。後から断熱材を追加したとはいえ、本格的に作った住宅と比べれば十分ではありません。

住宅の快適さには、断熱と気密性が本当に大切なんです。



※ 耐震相談・耐震診断受付中 お気軽にご相談下さい

木の香る健康な住まい

徳矢住建 株式会社

お問い合わせは！

TEL (0742) 33-4389



Tokuyasu 徳矢住建株式会社

http://www.tokuyajyuku.co.jp/